



あらゆる差別・ハラスメントを許さず 正常な職場を取り戻す7.5緊急集会

過日、組合員が管理者からのパワーハラスメント(Yokohama Mail News No.31 参照)を受けた事象に対して、横浜地本は個人ではなく輸送サービス労組に掛けられた問題として、7月5日に「あらゆる差別・ハラスメントを許さず、正常な職場を取り戻す7.5緊急集会」を開催しました。集会には、各地本・各分会からの檄FAXの他、八王子地本と東京地本の仲間も連帯して参加いただきました。

パワーハラスメントを受けた組合員の発言(抜粋)

(この間の経過説明)この間の指導は、ほとんどがイジメである。自分が潰れるのを待っているのではないかと今回思った。「君のためにやってるんだ」で何でもできると思っていることが腹立たしい。やられている本人は何も言えない。「人生を左右する」という発言は、私のためでも何でもない。これは普通じゃない。絶対に運転士は辞めない、管理者に分からせたい。管理者はマヒしているからこそ、こういう言葉も出てくる。今後、色々な所で同じようなことが起るかもしれない。弱い人であれば会社を辞める。自殺するところに繋がっていつてしまうのではないかと。管理者が言ったことは許せない。自分が終わったら次が出る。そう言うことを考えると、立ち上がって闘わなければいけない気持ちでいっぱいである。

参加者からの発言

- ・ 今日、集会が開かれて共に支えあうことが素晴らしいことだ。広め押し上げることが大切。輸送サービス労組に属していることで目をつけてやっている。私たちも言葉だけでなく支えていく。
- ・ 私たちもやることをやって物を言っていく。会社がやったことはお客さまを見ていない、人権侵害。会社の目的を貫徹するために会社の意に反する社員をやっつけなければいいという感覚に陥っている、非常事態だ。
- ・ 今の会社の進め方に疑問を持っており、声を出せない人が多くいると感じている。
- ・ こんなことを見逃したら、組織も会社もダメになる。仲間の為に立ち上がることは大切、譲ってはいけない。
- ・ 仲間は大切、仲間の為に同じ思いをする人を出さない決意は大事である。職場でこの思いを広げていく。
- ・ 人として見ていないと感じた。JTSU-E に向けられた攻撃であり、ここで止める覚悟でやっていく。

まとめ

今回の事象は、指導と称したパワーハラスメントである。今後、会社が出てくるようであれば次の段階に進む。違憲、違法行為をしているのは会社である。我々は屈することなく前進していく。これからも仲間が攻撃されるようなことがあれば、全員で集まっていく。

**組合員のために
横浜地本は全ての仲間と共に闘いを創り出します!**

